

J A 広島総合病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	重症下肢虚血患者に対するバイパスの遠隔開存はグラフト血流量で予測できるのか
倫理委員会承認番号	No.20 No. 21 - 24
研究の対象	2009年1月から2019年12月まで当院で重症下肢虚血に対して大伏在静脈を用いて下腿動脈バイパス術を施行し、遠隔期追跡調査可能であった170例（208肢）を対象とします。
研究目的・方法	一般に下腿病変を主体とする重症下肢虚血患者ではバイパス術は血管内治療より長期開存にすぐれ、推奨されています。しかしながらバイパスの開存率は5年で60～70%程度とされています。バイパスの開存に関わる因子の検討は多く行われていますが、グラフトの血流量がバイパスの開存に寄与するという研究は多くありません。今回我々は術中に測定したグラフトの血流量を用いて、重症下肢虚血患者に対するバイパスの開存率を検討します。
研究に用いる 試料・情報の種類	術前または治療開始前の状態、基礎疾患、手術内容、術後経過などを診療録、検査データ、画像データの記録を参考に調査致します。従って、患者さんに新たなご負担をおかけすることはありません。
外部への 試料・情報の提供	当院で検討を行うため、外部への資料・情報の提供は行いません。
個人情報の取り扱い	使用した情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は論文投稿を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。
利益相反の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 ()
お問い合わせ先	廿日市市地御前1丁目3番3号 J A 広島総合病院 心臓血管外科 研究責任者：小林 平 TEL：0829-36-3111 / FAX：0829-36-5573
備考	